



平成20年9月24日

各 位

会 社 名 株式会社日清製粉グループ本社
代表者名 取締役社長 村上 一平
(コード番号：2002 東証・大証第1部)
問合せ先 執行役員 総務本部広報部長
稲垣 泉
(TEL 03-5282-6650)

当社子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であるオリエンタル酵母工業株式会社が、別添資料のとおり、平成21年3月期の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績に与える影響は軽微であり、業績予想の修正はありません。

(添付)

オリエンタル酵母工業株式会社の開示資料

以 上



平成20年9月24日

各位

会社名 オリエンタル酵母工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中村 隆司
 (コード番号 2891 東証第2部)
 問合せ先 取締役経営企画本部長 森 裕行
 (TEL 03-3968-1125)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月12日発表)	百万円 31,400	百万円 830	百万円 900	百万円 480	円 銭 14 63
今回修正予想(B)	31,700	670	790	440	13 41
増減額(B-A)	300	△160	△110	△40	—
増減率(%)	1.0	△19.3	△12.2	△8.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	30,656	894	1,014	570	17 33

(2) 平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月12日発表)	百万円 63,200	百万円 1,910	百万円 2,060	百万円 1,000	円 銭 30 48
今回修正予想(B)	64,000	1,600	1,800	900	27 43
増減額(B-A)	800	△310	△260	△100	—
増減率(%)	1.3	△16.2	△12.6	△10.0	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	61,892	1,760	1,957	1,131	34 36

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （平成20年5月12日発表）	百万円 28,000	百万円 390	百万円 690	百万円 470	円 銭 14 32
今回修正予想（B）	28,100	180	500	350	10 67
増減額（B－A）	100	△210	△190	△120	——
増減率（％）	0.4	△53.8	△27.5	△25.5	——
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成20年3月期第2四半期）	27,282	432	739	510	15 50

(2) 平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成20年5月12日発表）	百万円 56,200	百万円 1,060	百万円 1,410	百万円 750	円 銭 22 86
今回修正予想（B）	57,000	700	1,100	600	18 29
増減額（B－A）	800	△360	△310	△150	——
増減率（％）	1.4	△34.0	△22.0	△20.0	——
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	55,094	809	1,142	773	23 50

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想

売上高につきましては、食品・バイオ両部門の新製品上市や拡販努力及び価格改定が寄与し、前回発表の予想に比べ増収となる見込みです。

営業利益等の収益面では、特に食品部門で価格改定を行っているものの穀物類や乳製品等の原材料価格及び燃料等エネルギー費の急激な上昇分を全て吸収できなかった事に加え、イースト関連製品等の需要減により収益が圧迫され、前回発表の予想に比べ減益となる見込みです。

(2) 通期の業績予想

売上高につきましては、第2四半期累計期間に引き続いて新製品上市や拡販努力及び価格改定を行い、前回発表の予想を上回る見込みです。

収益面につきましては、食品部門を中心に原材料費の上昇を吸収すべく価格改定を進めるとともにコスト削減を進めてまいりますが、イースト関連製品等の販売数量減少やマヨネーズ類の収益悪化により、前回発表の予想を下回る見込みであります。

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上